

令和7年度第1回綾瀬市特別職報酬等審議会 会議録

開催日時	令和8年3月31日(火) 10:00~10:45
開催場所	市役所窓口棟3階309会議室
出席者	<p>〈委員〉 吉川会長、守矢職務代理、池田委員、落合委員、栗原委員、平出委員、平本委員 (事務局) 庄司総務部長 職員課 今村課長、池田</p>
会議要旨	
1 開会	<p>会長及び会長職務代理の選任 会長あいさつ</p>
2 議題	<p>(1) 議会議員の議員報酬の額について (事務局から会議の進め方及び資料について説明)</p> <p>委員からの意見・質疑</p> <p>(委員) 2年ほど前から議員が2名減となっており、欠員の議員報酬分をベースに増額することで、市の財政に影響を与えずに報酬を増額できると考える。</p> <p>(会長) 市議会では現在2名の欠員である。全国的にも多くの市町村で議員の定数が削減されている。</p> <p>(委員) 今回の諮問は議員定数についてではないが、人口に対する議員数を比較するため、次回資料を用意願いたい。 議長の金額が県内で一番低く、副議長や議員についても県内で下から2番目の金額になっている。引上げを検討することが望ましい。</p>

(委員)

物価や民間の給与もかなり上がっており、議員報酬についても、今の状況を踏まえて上げていくことが良い。また、議員の方のやる気や質の面でも、相応の報酬を出していくべきで、今後適切な金額を審議していきたい。

(会長)

審議会としての意見をまとめるにあたり、他の委員の意見も伺いたい。

(委員)

資料を見て報酬額が下から2番目ということで気の毒に感じた。物価高を肌身で感じており、県内の最低賃金も上がっていることを考えると、25年据え置き状況は見直すべきである。

(委員)

議員の仕事はとても忙しいのに報酬の額を見て驚いた。議員のなり手が減っている状況もあり、報酬を増額するのが良いと思う。議員の心持ちも変わってくる。

(会長)

委員全員が時代に合った報酬にしていくべきであり、定数についても現状に合わせていくべきとの意見であるため、いくつか資料の話も出た。今後は事務局が用意する資料を参考に審議していきたい。

(委員)

政務活動費を会派に交付していると思うが、各市と比較して綾瀬市がどのような状況にあるかも参考に見ていきたい。こちらも資料を準備してもらいたい。

(2) その他

(次回日程)

令和8年4月27日(月) 午前10時から開催